

本書の活用方法

人体の構造と機能

目標Ⅰ. 正常な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

目標Ⅱ. フィジカルアセスメントおよび日常生活の営みを支える看護に必要な人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

目標Ⅲ. 疾病の成り立ちとの関連において、人体の構造と機能について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 細胞と組織	A. 細胞の構造	a. 細胞膜と細胞質 b. 核 c. 細胞小器官と細胞骨格
	B. 遺伝子と遺伝情報	a. ゲノムと遺伝子 b. タンパク合成
	C. 細胞分裂	a. 染色体の複製と有糸分裂 b. 減数分裂
	D. 組織	a. 上皮組織 b. 支持組織 c. 脂肪組織 d. 神経組織
	E. 細胞間通信	a. イオンチャネル型受容体 b. 代謝調節型受容体

〔「看護師国家試験出題基準(令和5年版)」より〕

①各設問が出題基準のどの項目に該当するかを示しています。

状況設定問題は1事例につき1つの出題基準を示しています。

令和5年版看護師国家試験出題基準対応。

腫瘍(脾臓)

目標Ⅲ 大項目-7 中項目-D

②設問の学習テーマを示しています。

問題

31 Aさんは眼球結膜の黄染がみられているため受診した結果、脾頭部癌であると診断された。

Aさんの眼球結膜の症状の原因はどれか。

1. ビリルビン産生過剰
2. グルクロン酸抱合異常
3. 肝外胆管通過障害
4. 肝内胆管障害

解説

脾頭部癌では、総胆管が脾頭部を貫いてファーター乳頭に開口している構造上、胆道の閉塞が生じやすい。閉塞性黄疸が生じるため、灰白色便、ビリルビン尿、尿中ウロビリノーゲンの減少などがみられやすい。

- 1 ☒ ビリルビン産生過剰は、溶血が亢進している溶血性貧血でみられる。
- 2 ☒ グルクロン酸抱合異常は、肝炎や肝臓癌など肝細胞が傷害されているときにみられる。
- 3 ☒ 脾頭部癌では、総胆管が脾頭部に陥入して主胆管と合流している解剖学的な構造から、癌による腫瘍が胆管を圧排することで肝外胆管通過障害が生じる。
- 4 ☒ 肝内胆管障害は原発性胆汁性肝硬変でみられる。

③解説の冒頭部では、正答を導き出すための考え方のプロセスを示しています。

⑤とくに重要、または関連させて覚えておきたいものは赤字で記しています。

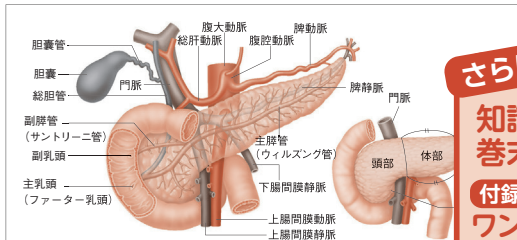
④選択肢ごとに正誤の根拠を示し、簡潔に解説しています。

ワンポイントアドバイス

■脾臓癌

- 脾頭部に浸潤する癌を脾頭部癌とよび、脾体尾部に浸潤する癌を脾体尾部癌とよぶ。脾臓癌のうち6〜7割が脾頭部癌である。
- 60歳以上の高齢者に多いが、原因は不明。早期発見が難しく、周辺臓器に浸潤・転移しやすいため予後不良である。
- 症状として、上腹部痛、背部痛、疲労感、黄疸、悪心・嘔吐などがみられる。

●脾臓の構造



(落合意之監：糖尿病・内分泌疾患ビジュアルブック 第2版, p.12, 学研メディカル)

正答
3

⑦“ワンポイントアドバイス”では、関連事項や覚えておきたい知識をわかりやすく整理しています。

⑥イラスト・表を多用して視覚的に理解できるようにしています。その他、関連した国試過去問題も掲載。

さらに

知識を深める関連資料を巻末に収載！

付録1
ワンポイントアドバイス+α付録2
計算問題における非選択式問題